

「学力向上ポートフォリオ(小学校版)」

学力向上目標

- 全ての児童に対して、
- 基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得させる。
 - ・当該学年で習得すべき漢字を読み書きできる。(自校テストで80%以上にする。)
 - ・たし算、ひき算、かけ算、わり算ができる。(自校テストで80%以上にする。)
 - 思考力・判断力・表現力を高める。
 - ・各学年、各教科の自校テストの「思考力・判断力・表現力」観点の正答率を80%以上にする。
 - 主体的に学習に取り組む態度を涵養する。
 - ・令和3年度の学校評価において、「学校の勉強は楽しいですか。」の質問に対して肯定的な回答の割合を80%以上にする。

具体的な手立て

- ① 朝学習に算数パワーアップタイムを設定し取り組む。
- ② 「ドリルパーク」を活用し、児童が自分の学習内容の理解を把握し、**弱点を克服する**。
- ③ 国語科において学校課題研修に取り組み「思考力・判断力・表現力」を育む指導方法の工夫改善【**自己の変容が自覚できる場面を設定したり(自己評価) 2、3人組で話し合う活動を取り入れたりする(学習形態)**】を意図的に研究し他の教科にも広める。
- ④ 授業のユニバーサルデザイン化を図る。

結果

- ・自校テストでは、漢字及び、計算における習得率はそれぞれ80%を超えた。
- ・自校テストでは、「思考力・判断力・表現力」観点の正答率は80%を超えた。
- ・令和3年度の学校評価において、「学校の勉強は楽しいですか。」の質問に対して肯定的な回答の割合が90%を超えた。

今年度の振り返り・次年度に向けて

各教科においてタブレットを有効に活用しながら、知識・技能、思考力・判断力・表現力等の成果指標を達成することができた。

「主体的な学習に取り組む態度」については、学校課題研修(国語科)を中心に各教科においても課題を設定し、様々な手立てを工夫することで向上が見られた。

次年度は、「①課題や学習計画を児童とともに立てる」「②タブレットの活用のさらなる推進を図る」「③個別最適な学びを意識し日々の授業を工夫する」ことに着手していく。